

「平市公民館図書部」から「いわき市立平図書館」へ

平市公民館図書部は、平市公会堂の2階で業務を行っていましたが、昭和27(1952)年4月、平市公会堂隣に平市公民館が建設されたことに伴い公民館内に移転します。

一方、昭和13(1938)年の開館以来“文化の殿堂”として市民に親しまれてきた平市公会堂は、建物の老朽化と接する国道6号の交通量の増加に伴う騒音のため、昭和41(1966)年4月に廃止となってしまいます。同年12月には、平市公会堂の敷地は公民館の敷地も含めて旧大黒屋デパートに売却されました。

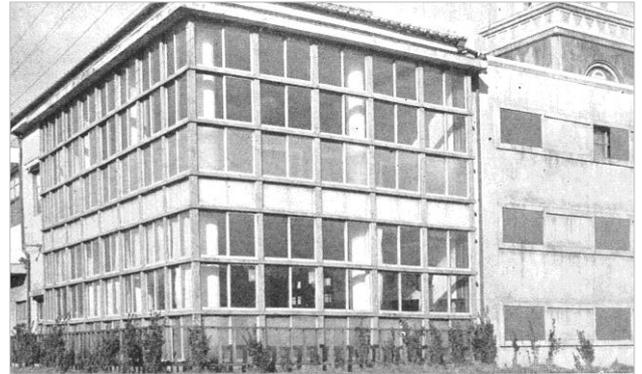
また、昭和41年10月にはいわき市が発足し、名称を「いわき市立平公民館図書部」と変更しました。

旧大黒屋デパートに売却された後も、公民館図書部は移転先が決まるまでのしばらくの間、間借りという形で同地で図書館業務を行っていました。移転先を巡っては、独立型図書館の設置を求める声がありますが、当時のいわき市は合併後の財政難を抱え、新規事業へ着手が困難な状況でした。

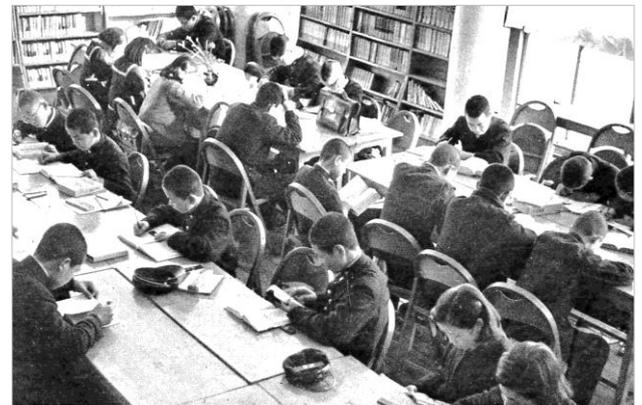
とはいえ、社会教育の基盤である公民館がいつまでも間借りという訳にもいかず、昭和43(1968)年7月、市は暫定移転という形で、平搔槌小路にあった私立平陽女学校跡に公民館と図書部を移転することにしました。ここで暫定移転としたのは、将来的には独立公民館と図書館の建築を目指していたからです。

平搔槌小路への移転に伴い、平公民館図書部は独立運営となり、名称を「いわき市立平図書館」と変更しました。当時の蔵書数は2万5,000冊、年間利用者は延べ1万人を超えていました。

なお、平搔槌小路への移転は、独立公民館・図書館の新築までの暫定移転のはずでしたが、新館開館は7年後の昭和50(1975)年5月の市文化センター(平堂根町)のオープンを待たなければなりませんでした。



平市公会堂に隣接していた平市公民館
(『平市勢要覧 昭和30年度版』)



平市公民館図書部 館内(『平市勢要覧 昭和30年度版』)



『いわき民報』(昭和43年2月1日付)